

## 1 計画書全体

・外部専門家を当てにするのではなく、町民主体のまちづくりをするにはどのようにすべきか検討していただきたい。形だけのパブコメを実施するのではないことが伝わる具体策をお願いしたい。例えば、水道料金値上げについてのアンケートが各家庭に配布されたことがあるが、それと同様のことができないか。

・昔からの土地に住んでいる人たちが歩いて暮らすまちにできるのか。駐車場の確保は。これから町に住む人は持ち家や昔からの土地に住むのに歩いて暮らせるコンパクトなまちなかをどのように形成するか矛盾を感じる。例えば、保健センターに集う親子は車を利用する人が多い（町道に歩道がなく子連れで歩くのは危険なため）。吾高も廃校となり通学利用の高校生も減っているなか車を使わずに乗り合いバスや電車を使って駅前施設に行くイメージがわからない。

・P14「人々が立ち寄りたくなる「町の顔」づくり」を行うのか、町民が暮らしやすいような施設を作るのか、計画書を読む限りわからないがどちらなのか。

・利用していくのは10・20・30代であるのに、これらの世代の意見がほとんどないように感じた。（P50～P53）

・多くのアンケートやデータをとれているのに反映しているとは思えない。

・ターゲットを絞るというアドバイスに対して、子どもからお年寄りまで利用できる施設とはまるでターゲットが絞れていないのでは。

・現時点では町民の意向より、東洋大学の意向の方が強いような印象を受ける。

・東洋大に丸投げしすぎていないか。あくまで協力という形にして町民が舵を取らないといけないと思う。

・今回提案されている計画は、今後町民の意向を取り入れながら更新を重ねていくとよいのでは。

### 【町の方針】

町民主体のまちづくりを望む声が複数寄せられました。皆様のご意見を参考に、計画書に反映できるものについて検討いたします。

## 2 旧庁舎跡地

・旧市街地は吾妻高校が廃校になったこともあり、平日の昼間や夜（19:00～21:00）の人通りはなく、跡地に作る施設（カフェ・ラウンジ・展示コーナー）の集客の見込みが薄いと感じる。

・オンラインで買い物ができる時代、原町への用事は少なくなり、バイパス側の大型スーパーでの買い物がメインになる。この観点から考えると駅南に寄り道という考えは難しいと考える。「用事のついで」ではなく旧庁舎跡地に「用事をつくる」という発想が必要と感じた。ポイントはターゲットをピンポイントで絞り人を滞在させることで、「人が集まる場所に人は集まる効果」を狙うこと。

・旧役場跡地にカフェはいらないと感じた。利益の見込があるなら空き家対策も含め民間に任せるべきだと思う。利益の見込がないのなら税金や補助金で運営しているカフェは総じて食のクオリティーが低く、結果として永続的な経営は不可能である。

・旧役場跡地に建物と広場があるのはいいと思う。広場ではフリマや〇〇市など様々な使い方ができる。建物は図書館、勉強休憩スペースやお年寄りが一人でも来て誰かと話せるスペース（和室のような）の設置も必要であると思う。

・役場跡地には広々とした公園と休憩所、カフェがあり、子どもが安心して遊べる場所にしてほしい。また、保育所やこども園が散歩で遊びに行けるような場所にしてほしい。

・広い公園にすることでイベントにも対応できる場所になる。

### 旧役場跡地の利用

1) 東吾妻町にないもの、町の魅力を生かせる施設。町内外の人が満足して何度も足を運べるような町のシンボルになるような施設。

2) 敷地面積を考えると広範囲の施設には向いてない。広い駐車場なども兼ね備えた、縦に高い施設（タワー型施設、ボルダリング施設）

### 3) 5階建ての施設

1階…カフェや地元特産物販売、物産展などの出店販売。

2階…観光資源の忍者施設。

3階…リモートワークやオンライン講習ができる施設。

4階…パブリックビューイング、会議や大人数の講習ができる施設。

5階…悪天候でも子供が遊ぶことのできる町を一望できる施設。

屋外…建物外壁をボルダリングできるようにする。

（スピードクライミング・フリークライミング）

その他必要な設備を兼ね備える。

・旧役場跡地に関しては、当面の間広場や駐車場として活用しながら検討を重ね良い利活用方針を作してほしい。

・東洋大学による3つの利活用提案通りに創るには費用がかかり、将来的に負の遺産を残すことになるため、費用をなるべくかけないよう、芝生広場にして多目的に使用できるようにしておくべきだ。

### 【町の方針】

役場旧庁舎跡地の利活用に関して、広場、公園や多目的利用を望む声が複数寄せられました。整備プロセスや規模など、施設のあり方を継続して検討いたします。

### 3 施設の用途・活用

- ・駅前広場近くに日本語学校と英語教室を備えた施設を希望する。
- ・週に一度職場体験や説明会、文化発表会や防災教室を開催して多くの人を訪れる場になれば交流の輪が広がる。
- ・共創スペースを原町に作るという案は共感した。創造交流拠点については、クリエイターやプログラマーなど流動的な働きをする人材を東吾妻町として確保することにもつながり、人口増加も期待できると感じた。
- ・地元で作ったものを提供したい。（お饅頭、手作りみそ、手作り餃子）
- ・保健センター、教育委員会、福祉課を一つの建物に集約しそこを拠点に地域全員が交流できる仕組みを希望する。都会とは違う面倒見のよさが東吾妻町の強みである。
- ・フリースクールは無く児童発達や放課後等デイサービスなどの社会資源も不足しているため、子どもたちの居場所を増やすことで、子育て世代にやさしい町になっていくと考える。
- ・道の駅、真田宿、館はお城風にする。  
  
(提案) 町の顔となるような施設づくりの場合。  
「マイロックタウン」を掲げているが、認知度が低いのが現状。岩櫃山への登山客やキャンプ場などアウトドアに関心がある人が多いことから「日本一のボルダリング施設」を作る。国際大会に使えるような施設にすることで国内外の選手を呼び込む。子供でもできる競技なので体力向上にもつながる。広大なスペースが必要ないため、学習スペースや休憩スペース等の併用も可能。  
コロナウイルスの現状から、2拠点又は他拠点生活を希望する人が増えている。今後増える見込みである。東京からも近く軽井沢や草津と比べ観光地化していないのが魅力でもある。他拠点生活者を関係人口とすることで、町の活性化や移住者を増やす見込みがある。現在の観光協会に宿泊場や空家、東吾妻町での生活を紹介できるような窓口を作り他拠点生活者を呼び込む。
- ・作ったものをどのように運営していくかが重要であり、建物を作っただけで終わるのは全く意味がない。運営は町が協力しながら民間に任せるべきであると思う。
- ・町内には少しお茶をするようなスペースがないため、テナントを呼び込みお茶をする目的で来る人や勉強する学生がゆっくり滞在できるスペースがあるとよい。店外での休憩スペースの確保も必要。（テナント料が入ってくる。）
- ・子育て支援の一環で町民、町内勤務の人のために託児所を設置し幅広い人との交流の場所になればよいと思う。
- ・1階のみの作りにしたのが疑問に感じた。2階づくりにして静かに勉強できる学習スペースがほしい。
- ・屋外空間で小さい子供たちが遊んでいる様子を親たち座って話せるような小さいカフェがあるといいのでは。
- ・建物のデザインはガラス張りでおしゃれでいいと思ったがあの空間に合うのか。自然豊かというイメージがこの町にあるのだがその緑を増やしてはどうか。
- ・町民が使えるような環境を整えてほしい。
- ・子どもたちはボルダリングなどができる施設など。
- ・この施設ができることによって人口流出ストップや、人の定住、誘致ができるとは思えない。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民が集まりやすい施設を希望する。その施設に行けばお茶でも飲みながら話ができるとか、体験や運動、イベントができる空間。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カルチャー教室にある企画が可能な部屋割があると、人も閉じこもらず出かけやすい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民が情報交換できるパネルなどがあると紙に手書きのお知らせができ、井戸端会議の現代版として使うことができるのでは。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中庭、外庭、広場、カフェなど人が立ち寄れる憩いのスペースは良いと思った。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者もスマートフォンを持つようになり、今後インターネットで広がっていくと思うので、外でもWi-Fiが使えるとよい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニットカフェ（編み物を教えあいながらお茶も飲める空間がほしい。）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌声喫茶（懐かしい歌を歌う。）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・レコードコンサート（LPレコードを持ち寄りみんなで聞く）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高年がいけるカフェ（パンとコーヒー、お茶）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でも行けるようなカウンター横並びで。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから高齢者が集える図書館</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が遊べる バasketボールやボルダリング</li> </ul>
<p>（提案）</p> <p>1）日本一のボルダリング施設の建設を提案。オリンピック競技でありながら国内に目立った施設がない。旧役場跡地の広さを考えても縦に延ばせる施設なので問題ない。</p> <p>2）上信自動車道からみても目立つ。地域スポーツとして子供たちに根付かせる。マイロックタウンというまちのブランディングにも取り入れる。簡単なカフェを併設し親が見守り子が遊ぶ。聖地として関係者の来客が増えそれに伴う地域サービス施設、雇用、定住者が増える。</p>
<p>P58群馬銀行旧原町支店の店舗の利活用について</p> <p>1）歴史資料館として利用するのではなく、リフォームをすることで旧役場跡地に計画されている交流施設として利用するのはどうか。中央公民館の機能を持たせるとさらに良い。</p>
<p>原町駅南口から町有地、所有者意向確認エリア、加地医院跡地、役場旧庁舎跡地、群馬銀行旧原町支店跡地が利用可能ならば、中央公民館と保健センターを駅前に移築し、保健センターと原町日赤で福祉エリアと中央公民館、図書館、歴史資料館、中高生のスタディールーム及び観光協会を含めた、文化エリアを集積すべき。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・万人ではなく一部の人に必要だと思ってもらえる施設をつくる。（コワーキングスペース・スケートボードパーク等）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近ではキッチンカーなどで移動販売している人も増えてきているため、場所を貸せるようなスペースがあると良い。</li> </ul>

## 【町の方針】

主体的に各種活動を行いたいという声が複数寄せられました。役場旧庁舎跡地に関しては他の施設との連携も含めて用途、活用方法を検討いたします。また、町民の皆さまに施設の活用、運営に関わっていただく方法を検討いたします。

## 4 施設の利用者

・ 健常者だけでなく、身体に障害がある人も使えるような施設になるといいと思う。

・ 特にユニバーサルシートについては、体が大きくなってもオムツ交換が必要な、お子さんやご家族が使えるため大変助かるものである。

・ 町内外から訪れるご家族が気軽に立ち寄れたり、休憩できる施設になったらいいと思う。

・ 建設予定の施設は町民向け、町外から立ち寄る人向け、どちらなのか。  
・ P34(2)東吾妻町の将来像とあるが、全国の自治体に言えること。  
・ P47「ターゲットを明確にしておかないと失敗するハコモノになるという指摘」に関して。  
・ P48、49のWSの提案についても、ターゲットが定まっていないと感じる。お年寄りがハーブティーを飲むイメージがわからない。方向性が決まらなかつたカフェのメニューも決まらないのでは。

(提案) ターゲットを町民とした施設づくりの場合  
現在老朽化している施設(保健センター・公民館等)を複合的な施設にする。高校生が電車待ちや勉強できるスペースや、保健センターで親子の集まり等をする場が狭いため子どもからお年寄りまで多目的に使える広いスペースがあるとよい。町民に具体的で詳しいアンケートを取り、必要な設備やスペースの確保をする。

・ 学生に対して施設利用の利便性向上を図るため、中之条駅と原町駅間のシャトルバス運行があればよい。1時間に1本の吾妻線を待つのであればツインプラザで十分であるしわざわざ原町駅で途中下車はしないであろう。シャトルバスの運行によって施設需要は必ずある。ハブアンドスポークにすれば施設利用後に電車ではなくバスを利用する方のメリットがある。バスの方が帰宅しやすい場合もあるのでは。

・ 建設予定の施設は町民向け、町外から立ち寄る人向け、どちらなのか。

### 【町の方針】

多様な人々が気軽に立ち寄ることができる施設を望む声が寄せられました。役場旧庁舎跡地には町民活動を「見える化」するための広場を計画し、移住者や関係人口を呼び込んでいくための観光案内、移住相談の窓口の入る施設を設置することを検討しています。

したがってターゲットは町民活動を含む観光、移住促進にかかわる利用とし、利用者は町民のほか町外からの来訪者を含め想定しています。町に潜在する地域資源をつなぐ拠点として、町内外のどちらの人にとっても「町の顔」となる施設のあり方を継続して検討いたします。

## 5 空き家・空き店舗

・空き店舗を再利用しながら、フリースクールや子育て発達支援相談室、カフェ、娯楽施設、図書館、学習室など、交代で飲食店が入っていくのもいいと思う。

・空き家再利用としては、移住者の呼び込みや町のPRが必要になる。また、子育て環境の充実が大切であると考え、子どもが誕生し終末までの流れを途絶えさせることなく地域で支えていけるような仕組みが必要。

・現在東吾妻町に何軒の空き家があるのか。空き家は今、資源として活かす考えも広がっている。島根県邑南町では、空き家をリメイクしながらリフォームし再生していく取組が行われている。地元の大工職人らと、技術を学びたい人を募り、空き家の再生をしていく。その活動を通して人間関係を気づくことができ、実技が身につく上に、魅力的である現実的な交流ができるのでは。

・手作り感が魅力的な町並み空間を崩すことなく更に、魅力的な町づくり計画を考えたとき、空き家再生案は現実的であり、最優先事項だと考える。その再生案を推進していくプランも選択肢に含まれるのではないか。事業計画段階で地元の技術者を参加させることで固有の文化を活用した事業を実施できる可能性がある。

### 【町の方針】

町で策定した「東吾妻町空家等対策計画」に基づき対策を進めて参ります。

## 6 その他

・歴史にとらわれすぎず人々の価値観の変化と併せて、数年後にできる上信道から町の将来像を考えるべき

・吾妻線を越える道路の延長が要望されているが進展していない。損失は将来的にも大きい懸案事項と考える。

### 第5章から第7章

周囲に観光地がありながら、観光や生活に関して魅力が感じられない。活性化させるためには、昔から存在する自然、歴史と文化、スポットを活かし、若者に求められるものを生み出し、町民が過ごしやすい町にするなどの政策が必要。

・今まさに足元を固め繋げていくときであり、またとない機会だと思う。声を掛け合い皆で、東吾妻町の明るい未来に繋げていてもらいたい。

・P34(2)東吾妻町の将来像とあるが、全国の自治体に言えること。

・建物を建てる場合、起債によるものになるとすると、借地代負担が減ったところで再び負担が生じる。運営収支の面で活用方法がうまくいけばよいが計画されたコンセプトを見る限り否定はしないが厳しい。もし不良資産化した際の返済のことを考えれば人口減少が激しい状況で町財政の不安は生じないだろうか。仮に譲歩しても建築を実行せず、他にお金を使うべき。観光客を期待しているが観光スポットの乏しい点を認めるならそれは間違いで、駅北側を活かした商業地の位置づけが良い。

・JRの存続も疑問である。上信道の開通や乗客の中心である学生の減少等でバスによる代替としての廃線あり得る。3.4.4路線（槻木稲荷城橋線）よりも高崎東吾妻線の原町駅横断路線の計画を進めるべきである。

・夜間に人を動かすことは治安や風紀の面からご意見等もあると思うが吾妻警察署も近いのでコントロール可能であると思う。

・原町を一体と考え北側の買い物ゾーンを加えた5ゾーンと考える。賑わうまちづくりのために北側の人を南側に移動してもらう必要がある。

・吾妻線を高架線にする。

・吾妻線の地下に道路を。

・吾妻線を越える陸橋左右にエレベーターを設置。

・月ぎめでもコインパーキングでもいいが駅周辺に駐車場がほしい。まちなかを歩くためには必要かも。

③駅周辺を徒歩で利用する人がどれだけいるか。

P44(3)「誰もが安心・安全～散見されます。」に関して

1) これは何かの統計データに基づいて記載しているのか。データをとっていないのであればバイパスを通る車の台数同様駅前を1日にどれだけの人が通るか調査していただきたい。

2) 旧道からカインズホーム手前までの道には歩道もなく横断歩道に信号がない場所もある。小中学校への登下校等が大変危険だと日々感じている。駅前の歩道を整備するなら併せて旧道全体の歩道の整備を希望する。駅前のみではなくある程度広範囲を安心して歩けるようにすることでコンパクトシティ化が進められるのではないかと。

・完成したとしても人が来なければ意味ないと感じる。その部分についてどのようなPRをしていくのか知りたい。

・パブコメの意見募集開始から提出までの時間が短いと思う。最低でも1ヶ月～2ヶ月は募集期間を設けるとよいのでは。

・北、南を移動する無料バスの運行等。

・今後車での移動が難しくなる高齢者が増え、生活自体を維持することが深刻になり交通事故も増えるとおもう。そこで、原町駅を中心としたバスのハブアンドスポークの改善も必要。起点を原町駅とし、駅からは循環バスに乗り換える仕組みも良いかと。時間も15分間隔にするなど利用状況を把握しながら改善する。広告収入や循環ルートにある店舗からの寄付など少しずつ運営費用の軽減をはかる。

・以前建設課に問合せしたところ、建設の予算がはっきりしていないようだった。東洋大との委託費を含め今回のプロジェクトの費用を開示してほしい。

・建物の設計に関しては隈研吾氏など有名な人に依頼することで、注目度もあがる。また施設オープンの際に隈研吾氏、町出身の町田啓太氏を呼び話題作りや、町のPRとして使い、観光資源にしていければ良い。

・転入者、雇用、子どもが増え活気のある町になってほしいが、まずは原町駅南側の再開発がうまくいってほしい。

P51右側6行目の意見・感想について

1) 同意見だと感じた。若者からの参加が少ないことを含め、もっと町民に周知することが必要だ。

2) 中高生に意見を聞くことも大切だが、町に住む大学生などにもこういった意見を出せる場が欲しい。意見を募ればさらに具体的な案を考えることもできるのではないか。

附1 イニシアティブ～関心を持つべき。再活用の～計画を皆で共有する努力に関して。

1) SNSで発信することでまず情報が伝わっていくのではないか。

2) 15年後20年後人口が半分になり、6割が高齢者の町になる。その時、これがあってよかったという駅南であってほしい。

附全般に関して

1) 人口が増えれば自動で達成するような印象をうけた。

2) それぞれでやっていることを新しいきれいな建物敷地内に集めただけに感じる。いまやっていることを改めて計画する意味が分からない。

3) WS・展示・フリマ・マルシェなどはやりたい人が自らSNSで発信することでできるのでは。

4) 観光案内、移住相談、物産品野菜販売、待合、公園など計画書の中で挙げられている物は全部現在あるものだがどのようなものをやるのか。個々が思い描いているものを1つずつ作っていくのか。

5) 人口が減少するなか賑わいを作るとしたら、観光地化して人を呼び込むのが一番良い。が、それを地元の人が望んでいるか。今でなくても5年後10年後に盛り上がったところで取り組むのも一つの方法だと思う。今までの計画を覆すような別のものでも、本当に必要なものをつくってほしい。

6) 誰もがこれがあってよかったと思えるものを作ってほしいです。あってよかった、あるからいいと思えるようなものにならないか。

・駅前正面左の駐車場はそのままあってほしい。

・費用の面では、財政状況を考えて、国及び県の補助金等を活用して整備すべきである。

P15群馬原町南側地区設定とP55 6.2.3誰もが～街路空間の構築に関して

1) 地図上で見ると普通の市街地道路。だが、日赤への道や駅前の道路も保健センターへの道路も狭く危険なため道路の大きな変更を期待している。

・駅前をロータリーにするのはいい案だと感じた。Suicaの導入など駅内の設備も整えてほしい。(P60 7.3.1)



<p>若者が求めるもの（在住）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自分のやりたい仕事がない（トレーニングジム、コーヒーショップなど）</li> <li>2) 娯楽（カフェ、映画館、ゲームセンターなど）</li> <li>3) 勉強や読書を楽しめる図書館（ツインプラザのような）</li> <li>4) 公園（ハッ場ダム周辺の公園や川場田園プラザのようなもの）</li> </ol>
<p>若者が求めるもの（観光）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 安く泊まれるビジネスホテル</li> <li>2) カフェ</li> <li>3) 宿泊や食事ができるペット兼用施設</li> </ol>
<p>町民が求めるもの</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 産婦人科～郡内で子供が産めない。</li> <li>2) 交通（Suicaの設置。上信道からバイパスへの円滑な交通、タクシー）</li> <li>3) 子どもが遊べる雨風がしのげる公園</li> </ol>
<p>「ロック×忍者×アウトドア」からなる地域活性化</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 旧役場跡地に日本トップクラスのボルダリング施設。</li> <li>2) 近隣のハッ場ダムや四万ダム等アウトドアと連携した観光資源。</li> <li>3) 岩櫃山をはじめとする周辺山々を専門家調査の元、ロッククライミング場として整備。（岐阜県の笠置山）</li> <li>4) 忍者とクライミングを掛け合わせることで町の要のPRとして売り出す。岩櫃山で行っている、トレイルランニングやマウンテンバイクのアウトドアと連携させ、売り出していく。</li> <li>5) アウトドアを前面に出すことで、若者や子育て世代を中心に人気が高まり、移住定住促進につながる。</li> <li>6) 明確にポイントを絞ることでここにしかない、この町オリジナルの観光資源として魅力ある東吾妻町になっていくと思う。</li> </ol>
<p>原町にいて思うこと</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 働く場所がない。</li> <li>2) 酒場が少ない。</li> <li>3) 泊まる場所がない。</li> <li>4) 人が来ても滞在時間が短いか、立ち寄る機会をキャッチしきれていない印象。長く滞在できる場所が必要。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の創出につながるようなスペースがあると若い子が残ったり外からくるような町の未来の活気に希望が持てる</li> <li>・未来志向で次世代が求めるまちづくり視点でやってほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町並み空間と旧役場跡地に建つ「建物」とは一心同体であって双方共に活かしあうデザインを考えていく必要がある。リソース（資源）や魅力を町民全体で再確認し活かしあっていく。</li> </ul>
<p>駅前や周辺道路の整備</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 上信道からふるさと大橋と原町バイパスに円滑につながる道路整備が必要。新設備がいいストロー効果を生むことに期待したい。</li> </ol>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場の確保が必要になり、例えば商工会のある辺りを更地にする事で駐車場を整備し、車を停めて歩いていけるようにする。駅前→施設へ徒歩で向かう人が増えることで駅前にお店を出したいという人も出てくるのでは。</li> </ul>

## コミュニティ交流ゾーン

・多世代交流拠点とコミュニティ交流整備ゾーンは1ヶ所に集約し建物にお金をかけない。

## まちなか居住形成ゾーン

・原町仲通り線沿いは空き家空き店舗が多いが最近は新たな住宅が多く建築されてきているため「まちなか居住」の方向は正しいと思うが、駅南地区を住宅地として進めるのなら「町の顔」となる施設は必要だろうか。

### P58 7.2.4まちなか居住形成ゾーン

- 1) 独居老人用マンションを作って、戸建に住んでいる老人に住んでもらう。町なかであれば見守りにもなるし、病院通いも楽になる。保健センターへの連絡や手続きをしてもらう。
- 2) 老人が住んでいた戸建は貸し出しする。空き家の更地化も進め、子育て世代が家を建てる際に更地を貸し出す。

## 医療・福祉集積ゾーン

### 附2 まちづくり地域連携～日赤など～医療系学習拠点づくりに関して

- 1) 日赤を支え日赤の補助的機能を持っていれば、自分たちに合った町を作っていけるように思う。

### P58 医療福祉集積ゾーンに関して

- 1) 災害・防災対応、緊急事態対応などを学び体験訓練できる施設。避難体験宿泊や緊急時に対応できる知識と技術を体験・訓練でき、災害について学べる場所を作る。災害学習を通して町外からの人を呼べるのでは。
- 2) 備蓄品や災害対策備品を保管できるような場所。
- 3) 医療福祉ゾーンとして作る建物は、発熱外来や災害など緊急時に対応できるような場所。
- 4) 日赤がずっとあってほしい。
- 5) これから多くの高齢者が受診することを考えると、建物内に院外薬局の設置や別棟に作る場合でも、車いすの人や子連れでの移動や悪天候時でも便利に行き来できるもの。
- 6) 待ち時間に過ごせたり、役場への書類の受付してくれたりする場所。
- 7) 日赤に入っていく道路を広く整備してほしい。救急車や給水車、トラックがすれ違いで通れることは、災害時を考えると必要だと考える。

## 賑わい交流整備ゾーン

### P57 7.2.1賑わい交流ゾーン

- 1) 以前議会だよりにあった「オンライン学習センター」の構想について、原町駅までくれば、大学の授業を受けられたりと選択肢が広がる夢と希望のある取組みだと感じた。
- 2) 国でも動いている「田園都市構想」にも是非チャレンジしていただきたい。ストロー現象の吸う側になれるのでは。

## 【町の方針】

本計画のみならず、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。